



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年10月31日

上場会社名 ダイニチ工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 5951 URL <https://www.dainichi-net.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉井 唯
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 野口 武嗣 TEL 025-362-1101
四半期報告書提出予定日 2023年11月7日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	7,685	4.5	487	36.6	585	28.5	397	22.8
2023年3月期第2四半期	7,355	16.4	356	204.4	455	119.2	323	143.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	24.57	-
2023年3月期第2四半期	20.02	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	29,358	26,324	89.7
2023年3月期	30,255	26,096	86.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 26,324百万円 2023年3月期 26,096百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	22.00	22.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	-	-	22.00	22.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	3.7	1,500	3.7	1,700	2.6	1,250	3.3	77.23

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	19,058,587株	2023年3月期	19,058,587株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	2,873,474株	2023年3月期	2,873,348株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	16,185,113株	2023年3月期2Q	16,185,277株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)におけるわが国経済は、景気は緩やかに回復している状況となりました。

先行きにつきましては、雇用・所得環境が改善する中で、緩やかな回復が続くことが期待される一方、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある状況です。

こうしたなかにあって当社は、市場や住環境の変化に対応した商品開発に取り組み、コーヒー豆焙煎機の新モデルやフルモデルチェンジした加湿セラミックファンヒーターを発売しました。また、原材料価格やエネルギー価格の上昇、仕入先の従業員の賃上げに伴うコストの増加分に応じた販売価格の改定を引き続き進めるとともに、最適な生産体制の構築に取り組みました。

<暖房機器>

主力商品であります石油暖房機器におきましては、日本国内の自社工場での生産による迅速な商品供給力と、安心して商品をお使いいただくための品質保証体制がお客様に評価されて業界内で確たる地位を築いております。

当事業年度におきましては、燃焼開始後、室温が15℃以下の場合に自動で最大火力を10～15%アップしてよりすばやくお部屋を暖める新機能「オートターボEX運転」を搭載した家庭用石油ファンヒーター「SGXタイプ」3機種を含む全12タイプ26機種の商品を販売して冬の需要期に備えております。

また、電気暖房機器におきましては、デザインを一新してより省エネ性・お手入れ性・暖房力を向上した加湿セラミックファンヒーターを含む2機種を販売し、脱衣所やキッチンなどスポット暖房の需要にお応えしてまいります。

当期間におきましては、一部量販店において石油暖房機器の導入が予定よりも前倒しになったことにより、暖房機器の売上高は前年同期実績を上回りました。

<環境機器>

加湿器におきましては、コンパクトな個室からワイドリビングまでさまざまなお部屋で使えるデザインモデルの「LXタイプ」を含む全8タイプ23機種の商品を販売しております。

また昨年10月からハイブリッド式空気清浄機の販売を開始し、テレビCMの出稿など積極的な販売促進活動を行いました。

当期間におきましては、加湿器の販売は減少したものの空気清浄機及び燃料電池ユニットの販売が増加したため、環境機器の売上高は前年同期実績を上回りました。

<その他>

その他におきましては、4月にコーヒー豆焙煎機の新モデルを発売したものの、加湿器のフィルターや金型等の販売が減少し、その他の売上高は前年同期実績を下回りました。

第2四半期会計期間は、暖房機器及び加湿器の販売店への商品導入期にあたるため例年の売上高は僅少ですが、当第2四半期会計期間においては、国内向けの主力商品である石油暖房機器において一部量販店の導入が進んだことにより、売上高は前年同期実績を上回りました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は76億85百万円(前年同期比4.5%増)、営業利益は4億87百万円(同36.6%増)、経常利益は5億85百万円(同28.5%増)、四半期純利益は3億97百万円(同22.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は前事業年度末に比べ8億96百万円減少し、293億58百万円となりました。

流動資産は前事業年度末に比べ10億8百万円減少し、186億49百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が50億68百万円増加、製品が19億70百万円増加したものの、現金及び預金が76億51百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べ1億11百万円増加し、107億9百万円となりました。これは主に投資有価証券が2億17百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債合計は前事業年度末に比べ11億24百万円減少し、30億34百万円となりました。

流動負債は前事業年度末に比べ11億49百万円減少し、23億23百万円となりました。これは主に買掛金が2億75百万円減少、流動負債のその他が6億83百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前事業年度末に比べ24百万円増加し、7億10百万円となりました。これは主に役員退職慰労引当金が13百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計はその他有価証券評価差額金の増加により、前事業年度末に比べ2億27百万円増加し、263億24百万円となり、自己資本比率は89.7%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2023年5月12日発表の「2023年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載した業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,195,912	2,544,644
受取手形及び売掛金	858,168	5,926,870
電子記録債権	1,119,566	217,736
有価証券	2,014,937	2,017,056
製品	4,446,454	6,417,453
仕掛品	148,875	178,070
原材料及び貯蔵品	787,830	1,099,414
その他	87,159	249,265
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	19,657,905	18,649,511
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,605,309	3,577,285
土地	2,086,422	2,086,422
その他(純額)	1,604,242	1,530,613
有形固定資産合計	7,295,975	7,194,322
無形固定資産	37,519	43,239
投資その他の資産		
投資有価証券	2,715,310	2,932,311
前払年金費用	461,064	501,619
繰延税金資産	56,132	-
その他	31,699	38,081
貸倒引当金	△380	△380
投資その他の資産合計	3,263,826	3,471,632
固定資産合計	10,597,321	10,709,193
資産合計	30,255,227	29,358,705

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,425,353	1,149,448
未払法人税等	367,366	186,011
賞与引当金	277,499	270,378
製品保証引当金	180,900	179,200
その他	1,222,221	538,897
流動負債合計	3,473,341	2,323,935
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	102,230	113,310
役員退職慰労引当金	422,150	436,000
その他	161,255	161,255
固定負債合計	685,635	710,565
負債合計	4,158,977	3,034,500
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,058,813	4,058,813
資本剰余金	4,526,575	4,526,575
利益剰余金	19,260,735	19,302,406
自己株式	△2,109,057	△2,109,149
株主資本合計	25,737,068	25,778,647
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	426,170	612,545
土地再評価差額金	△66,988	△66,988
評価・換算差額等合計	359,181	545,557
純資産合計	26,096,250	26,324,204
負債純資産合計	30,255,227	29,358,705

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	7,355,908	7,685,377
売上原価	5,134,535	5,311,927
売上総利益	2,221,372	2,373,450
販売費及び一般管理費	1,864,538	1,885,899
営業利益	356,834	487,550
営業外収益		
受取利息	10,405	12,024
受取配当金	25,482	29,399
作業層収入	42,075	33,396
受取賃貸料	11,751	13,583
その他	9,346	9,861
営業外収益合計	99,060	98,265
営業外費用		
その他	1	2
営業外費用合計	1	2
経常利益	455,893	585,813
特別損失		
固定資産除却損	3,672	1,540
特別損失合計	3,672	1,540
税引前四半期純利益	452,221	584,273
法人税、住民税及び事業税	88,500	149,900
法人税等調整額	39,767	36,626
法人税等合計	128,267	186,526
四半期純利益	323,953	397,746

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。